

別紙①

問13 今後、集約化や複合化を行ってもよいと考える施設があれば、具体的な施設名とその理由を記入して下さい。

具体的な施設名	理由	回答者の居住地	回答者の年代
施設名(統一)	理由	地域	年代
中央図書館と郷土資料館(うのはな館)	どちらも蔵書、資料を保管・展示している施設で共通点があるから	石浜地区	50歳代
	関連業務の施設複合化はどうでしょう。	生路地区	70歳代以上
	機能が重複しているところは統合・集約を積極的に進めるべきだと思います。直近5年程度の稼働率を定量的に算出し説明すれば、統廃合の理解は得られると思います。コロナによる生活・活動スタイルの変化もあると思いますので、その点も考慮に入れて検討していただくとより良いと思います。(大規模→小規模等)	藤江地区	30歳代
	郷土資料館と中央図書館が一緒になっていた方が、郷土資料館に関心を持って利用する人が増えると思うから。	石浜地区	50歳代
	建物に関わる経費削減と共有化で1カ所が良いと考えます。	石浜地区	60歳代
	見たり読んだりする行為は同じだと思うのでどちらも歴史を扱っているし。	石浜地区	50歳代
	資料館と図書館も、一緒によい。どちらも比較的新しいが…。図書館と資料館も、機能が似ており、集約することで互いの資料の把握、共有が図れると考えるため。	森岡地区	30歳代
	資料館にはなかなか足が向かないが図書館といっしょなら、ついでに見学できる。	緒川地区	70歳代以上
	似た様な物	藤江地区	50歳代
	図書館と資料館は同一施設内にあった方がより学習効果が高まると思う。	藤江地区	50歳代
	図書館の中の1ヶ所に資料館コーナーをもうける。	石浜地区	70歳代以上
	知識、勉強という意味で似てる。	生路地区	50歳代
	地元の資料展示を来館者が多い図書館の方が向いている	石浜地区	40歳代
	中央図書館と郷土資料館を統合することにより、図書館利用者に町の歴史的文化の披露を行う。学芸員の知識と図書館司書の知識を迎合することによりレベルの高い施設になると思う。	生路地区	60歳代
	東浦の歴史的な資料がどちらにもあり、知見を得るというポピュラーな目的意識に共通点がある為。	生路地区	20歳代
	読書をしたついでに興味がある人が見てくれる(その逆)	緒川地区	60歳代
	分けておくメリットがないため	石浜地区	40歳代
	利用者が一緒にあればついでに寄っていきやすい。	石浜地区	40歳代
	利用頻度が極端に少ないから。他の施設と統合(例えば図書館)したほうが良いと思う。	石浜地区	40歳代
	両施設が利用しやすくなる。特に、郷土資料館は、利用しやすくなる。	森岡地区	60歳代
歴史書・文学書と郷土史物の一体化が必要です。	石浜地区	70歳代以上	
郷土資料館で調べられない図書を図書館と併設されることによる効率化。また図書館だけを利用する人も興味を持つ可能性はあるので。	緒川地区	40歳代	
文化センターと勤労福祉会館	どちらもホールや会議室の貸し出しを行い、イベント時に利用されている等使用される用途が同じように思えるから	石浜地区	20歳代
	会議室が重複している。	藤江地区	50歳代
	楽器演奏の練習やカラオケなど、音が聞こえると、近隣の民家や、同建物内の、他の部屋の利用者に迷惑がかかるなど、実質使えないようだ。文化センターホールの音響、照明設備が悪い。芸能祭が行われるが、専門業者に依頼して、設備を補完している。施設の統合により、見直す必要がある。	藤江地区	70歳代以上
	機能も重複している上、施設の距離も近い。	緒川地区	40歳代
	勤労福祉会館の空き部屋を講座などに利用する	石浜地区	50歳代
	勤労福祉会館を使われているのか分からない。文化センターの余っている部屋を使ってはどうかと思う。	石浜地区	60歳代
	近くに似たような建物は複数必要ないと思う。福祉センターも含め、1ヶ所で良い。	藤江地区	40歳代
	芸術的、講義などに使用	森岡地区	60歳代
	似てるように感じるから。	緒川地区	50歳代
	敷地内に色々あるのは知っているのが、利用目的などがあまり分からないため。まとめてしまってもいいのではないか。	森岡地区	30歳代
	無駄な土地が多いから	緒川地区	10歳代
	名称の意味からして、同じものを言い換えているにすぎないように感じる。統合しても似た内容で活動できると思う。	森岡地区	40歳代
	役割が似てる	生路地区	50歳代
	用途、利用状況が似ており集約してもよいのでは。	石浜地区	50歳代
	利用者がすくない 何をしているかわからない 産業祭り以外何に使われているかわからない	石浜地区	40歳代
	使用目的が似かよっている気がする	緒川地区	60歳代
	同じ場所にある。用途の違いがわからない。	藤江地区	10歳代
	勤労福祉会館は、老朽化しているので、文化センターに組み込み廃止。	緒川新田地区	60歳代
コミュニティセンター・藤江公民館	トイレとか施設自体が老朽化してるから	緒川新田地区	50歳代
	公民館、コミュニティセンターは機能が似ているためそれぞれ独立して施設がなくても良いと思います。	藤江地区	30歳代

	他地区と同様、公民館→コミュニティセンター、1ヶ所にできる。	石浜地区	70歳代以上
	藤江コミュニティセンターがあるから	藤江地区	50歳代
	藤江公民館はなくてもいい。小学校そばにコミュニティセンターがあるので、統合して1つにする。2つもいらぬ。	藤江地区	40歳代
	藤江公民館は更新せず、生路や有脇地区と統合した広域公民館にすべきと考えます。	生路地区	40歳代
	名称が変わりわかりづらい。	藤江地区	50歳代
	利用者が少ないと思うので廃止	藤江地区	70歳代以上
	利用者が少なくコミュニティセンターにて対応できるはず。	藤江地区	60歳代
	利用頻度が低い	藤江地区	30歳代
	各地区に同等の施設が無く不平等で偏りがある。	緒川新田地区	60歳代
	近隣のコミュニティセンター。たとえば藤江と生路とか近いところ。なにか統合しなくてはいけないとしたらこしか思いつかない。車なくてもいける範囲だと思う	生路地区	40歳代
その他	関連業務の施設複合化はどうでしょう。	生路地区	70歳代以上
	近い距離に無駄(人料費、維持費光熱費etc)必要無い。	森岡地区	60歳代
	具体的な施設はないが、町内で1か所に集約できる施設は集約化複合化し、また、町内の各地区に設置している施設は、同種の機能を集約・複合化を進める。	緒川新田地区	60歳代
	健康管理を住民個人が行い、ピンピンコロリンで人生を終えるようになれば、医療の負担も軽減される	緒川新田地区	50歳代
	公共施設は1カ所にあると便利。	緒川新田地区	70歳代以上
	車で1.5時間かけて病院に通っています。東浦町にあったら良いなと思います。	緒川地区	70歳代以上
	来館目的、頻度、時間帯他細かく解析してまず集約できなければ複合化、デジタル化をしていく。	緒川地区	70歳代以上
	利用率が低く、一部の団体しか使用していない。アクセスしにくい。廃止。	石浜地区	70歳代以上
	駐車場もあり、文化施設がある	藤江地区	50歳代
	於大公園の中に水遊び、室中遊び場。一つの公園で1日遊べる場所があった方が親の楽、回も少ないし、増やして、	緒川地区	30歳代
児童館・総合子育て支援センターと小学校・中学校	フルタイムで働いているのですが、学校が終わって児童館などで学童のために移動するなど心配。問4のように、場所をフレキシブルにすべき。	石浜地区	30歳代
	下校後、児童館を利用している生徒さんが居る様な話を耳にした事がありました。	藤江地区	70歳代以上
	下校後、直行して児童館利用したり、放課後あずかりの場として活用したりする。	緒川新田地区	40歳代
	学童に行く生徒がそのまま利用できる。	緒川地区	50歳代
	学童への移動がなくなることで、児童の負担が減る。また、未就学児やその保護者にとって、小学校の様子が伝わり、期待を持てるようになる。	緒川地区	20歳代
	子供に関わる施設は、集約し支援できる。	藤江地区	60歳代
	世代のちがう人たちの生活を知ることが核家族化している現代では、必考なことだと思う。	石浜地区	70歳代以上
	特定の年代の人しか使えない施設を減らして、全年代が使える施設を充実させてはと思います	森岡地区	40歳代
	記入なし	緒川地区	60歳代
	児童館は小学校の空き教室を使うことはできないのか？財源としてもっと会社、工場誘致などを図るなど努力を求めるとともに文化、教育関連を削ることのないようお願いしたい。東浦町はコンパクトで大変暮らしやすいのでそのようなアピールも進めてはどうかでしょうか。老朽化改築、再建については住民税も少しずつ全世帯で負担すれば良いと思う。	藤江地区	50歳代
	森岡のように隣接していると便利。	森岡地区	30歳代
小学校・中学校	卯の里小学校を西部中学校に移し、小中一貫校にする。まず建物の年数や立地場所、子供達も幅広い年齢層の中育つことにより、学ぶ事も増えると思うから。	緒川新田地区	30歳代
	距離がそこまで遠い訳でもないし、石浜西小学校の近くの団地のおかげで石浜西小学校の人口は増えたものの、片葩小学校の人口が減っているのでも合わせてもいいと思う。	石浜地区	10歳代
	教育に力をいれ、東浦町の未来を明るくする人材をつくる。	緒川地区	60歳代
	児童数の減少。	石浜地区	60歳代
	自転車通学率が多すぎる。道幅も広くないのでもっと徒歩で通学できる範囲で中学校へ行けたら危なくないし、通学時間も減らせる。	藤江地区	30歳代
	少子化の中、子供にとっても良いのでは。	緒川地区	50歳代
	東浦中学校と東浦北部中学校を統合案。ただし森岡と藤江は距離的に遠いので近隣の大府中や亀崎中に学区編成も入れるべき。昔は大府や有脇等同じ学区だった時代もあります。今は東浦町内にこだわり過ぎる為、通学距離等考慮されてない面も感じます。私もかつて藤江から東中までの通学をしてましたが狭い歩道の国道を自転車で通学は危険と隣り合わせでした。今でも生路までは変わらず危険な状態です。逆に亀崎中であれば農道や武豊線利用で通学面のリスクアセスメントになると考えます。	生路地区	40歳代

	どちらの中学校も生徒数が減少。特に西部中学校は1小1中で、生徒は9年間他者との関わりが無く、高校入学時に友達の作り方がわからない といった悩みに直面する生徒が少なくない。成長課程で、コミュニケーション能力を身に付ける場が不足していると思う。	森岡地区	50歳代
	中学校の数を減らして。部活動が種類が少なく選択肢がない。1学年6クラスくらいはないと、難しい。	森岡地区	50歳代
文化センターと中央図書館	以前はいっしょだったので良く利用しました。	石浜地区	70歳代以上
	学校へ行けない子達が学習にとりくめたり、本を読んだり外(家の)へ出かける所が気軽にできる場所があるといいな。	緒川地区	50歳代
	集約することで残って欲しいです。	緒川新田地区	60歳代
	図書館は文化の一つと考えるから。	石浜地区	70歳代以上
	図書館へ気楽に通いたいから。	緒川新田地区	60歳代
	定期的な行事を催すことで、中央図書室を利用する機会が増える。駐車場が狭く、出入に苦労するため別途一括移転。	緒川新田地区	60歳代
	文化の中心を作る、小さくてもホール、会議室、小さなスタジオがあれば学べて、エアロビ、ヨガなどの運動もでき、町民の幸福度が上がると思います。	緒川新田地区	60歳代
	記入なし	緒川地区	50歳代
	緒川新田地区	70歳代以上	
文化センターと中央図書館と郷土資料館(うのはな館)	できれば、美術館も一緒にあって1日楽しめる場所があるといい。	緒川新田地区	60歳代
	一緒の方が便利である。	緒川地区	60歳代
	限定的利用者の為、費用対効果が生まれにくい。	緒川新田地区	40歳代
	講座学習等と一緒にできる。	緒川地区	40歳代
	使用目的が同じ様な施設に見える。	石浜地区	60歳代
	文化、歴史、学習などは集約すれば利便性が良いと感じる。	緒川地区	50歳代
	文化センターでの行事の時に、本を借りに行き、たまには、郷土資料館で昔の東浦町を思い出す。	森岡地区	70歳代以上
	本・資料・講座とつながりが持てると思う。	森岡地区	60歳代
	利用者数が少ないと思われるうのはな館は文化センター、図書館と一緒にすることで足を運ぶ人も多くなると思う。	緒川地区	70歳代以上
		緒川新田地区	40歳代
文化センターと中央図書館と役場庁舎	よいと思います	緒川新田地区	40歳代
	現在の場所から極端に離れた場所でなければ集約化や複合化してもよいと思います。	生路地区	50歳代
	今ある場所から考えても住民の人が不便にならないで、まとめる事により利便性が生まれると考える。	生路地区	60歳代
	資料がすぐ調べる事が出来る利便性が高い。	緒川地区	70歳代以上
	町の顔でもある役場のイメージが暗いです。近隣の市町のように人々が集まれる場所として複合化すべきです。町民講座も多様化して増やして欲しいです。建物(文化センター)も行きたくなるイメージが欲しいです。	緒川地区	60歳代
	役場で手続きついでにあると便利	緒川新田地区	40歳代
	役場で手続きをしたついでに、図書館で読書できる。	藤江地区	50歳代
	役場に行ったついでに本を借りたり、文化センターで講座等の資料をみれるから。	緒川地区	70歳代以上
体育館・はなのき会館と小学校・中学校	各小中学校にあるプールと町体育館について、刈谷の総合運動公園は体育館とプールが一緒になっていて、学校の水泳の授業で利用するとの話を伺ったことがあるのと、自身が小学生のとき、先生にプールの維持費が恐ろしく高いと聞いたことがあるから。	藤江地区	10歳代
	小中学校と共同で使う事ができる。	緒川地区	60歳代
	小中学校の体育館だけで良いのではないかと。はなのき会館はどんなところかどこにあるかも知らない。	森岡地区	30歳代
	小中学校の体育館と地域の体育館はどちらか一方に統合する、もしくは間を取った規模にして昼夜稼働できるようにするのも良いと思います(使用頻度にもよりますが)。	藤江地区	30歳代
	設備が重複しているように思うので。	緒川地区	50歳代
	体育館にプール併設	緒川地区	50歳代
	体育館や運動できる場所は学校など一緒にできそう。	藤江地区	30歳代
		藤江地区	30歳代
コミュニティセンター・藤江公民館とふれあいセンター・藤江コミュニティセンター	2つが割と近い距離にあるのでふれあいセンターの方に集約すればいいと思う	藤江地区	30歳代
	2つの施設の役割の違いが分からない点と、距離的にも2つの施設が離れていないので、統合は可能ではないかと思うため。	石浜地区	30歳代
	藤江公民館は選挙や祭りのときしか使わないので、選挙はふれあいセンターで祭りは神社で行えば、存在意義はないのかなと思う。老朽化も否めないと思います。	藤江地区	20歳代
	藤江公民館を何に利用しているのかわからない。他の地区の公民館も同じ?	藤江地区	40歳代
	二つ同じ建物であれば管理がしやすい2役場と、うのはな館(ついでに兄学)	緒川地区	70歳代以上
	森岡地区	40歳代	
中央図書館と役場庁舎	デジタル化が進む今後、従来の形の独立した図書館は必要ではない。	生路地区	70歳代以上
	最近、図書館に行かなくなってしまったが、役場と同じ所にあれば、立ち寄りやすくなる。	緒川新田地区	60歳代

	手続きついでに図書館に行けると子供が喜ぶ。あきなくて良さそう。	藤江地区	40歳代
	待ちの間に本を読める。	藤江地区	40歳代
	役場で手続きしたり、すぐに必要なことを、調べるのに便利だと思ったから。	緒川新田地区	30歳代
	役場の手続きしたついでに図書館を利用することで公共施設の利用率向上が見込まれる。	生路地区	40歳代
文化センターと中央図書館と役場庁舎と保健センター	どれも近い場所があるので1つにした方が無駄が少ない。	石浜地区	40歳代
	今ある場所も近く、1カ所に固めたところで特に変化もなく、住民もわかりやすいと思います。	緒川地区	30歳代
	駐車場が共同でいろいろな所に行ける(保健センターに行く時いつも心配になる)※時間が決まっている時駐車場が満車。	緒川新田地区	50歳代
	町内でひとつあれば良い施設は、一つにまとめたほうが良い。	藤江地区	70歳代以上
	便利かも。	森岡地区	40歳代
	本庁舎・文化センター・保健センター・図書館等、近くにはあっても駐車場に止めるのが面倒。土地の確保等問題があるはずだが、一ヶ所に行って手続きやらやれると良い。かなり大きな土地が必要だと思うが、理想。	緒川地区	60歳代
保健センターと福祉センター	2つのセンターを一つにまとめる。	緒川地区	70歳代以上
	医療と福祉等目的が似ている	森岡地区	60歳代
	経費の節約	石浜地区	50歳代
	現在の場所も近く、高齢化社会を迎える今後統合化しても良いのではないか。	生路地区	60歳代
	現在近くにあり、1ヶ所に集約してもよいのでは。利用目的の共通点が多い。	森岡地区 緒川新田地区	60歳代 70歳代以上
役場庁舎と保健センターと福祉センター	1ヶ所で手続きができる。	藤江地区	60歳代
	一箇所で手続きが完了するため	石浜地区	40歳代
	手続他を一カ所で出来るようにする、又うらら等の交通手段を便利に使えるようにする。	緒川新田地区	70歳代以上
	住民全体にかかわる公共性が強い施設のため。	石浜地区	70歳代以上
	年をとると、足がないため、使用するには一度で用事をこなすことが出来る。	藤江地区	70歳代以上
	老人(免許返納者)にとって一番利用する施設が役場にあるとどこからでもうららで行けるから助かる。	緒川地区	70歳代以上
コミュニティセンター・藤江公民館と老人憩の家・東ヶ丘交流館	みんなが気軽に集まる施設	石浜地区	70歳代以上
	体操、サロン	緒川新田地区	70歳代以上
	老人憩の家の老人の範囲が取り除かれたことでコミセンの部屋と憩の家の共通・共用の利用を考えても・・・	石浜地区	70歳代以上
	老人憩の家で行っている催しなどは、コミュニティセンターの一面を割り当てれば可能であると思われるため。また老人憩の家は行きづらく、特定の人が使っているイメージがあり、古そうなので1つの施設として維持するより集約した方が良いと思うため。	石浜地区	60歳代
	利用内容と頻度から、一つに統合できると思う。	森岡地区	60歳代
郷土資料館(うのはな館)	わざわざ足を運ぶような場所ではない。何か別の用事ついでに目を通せる場所に設置したほうが良い。	石浜地区	20歳代
	地方公務員の天下り先?	緒川地区	60歳代
	本来は、郷土資料館は、必要だが、中途半端な展示で資金が無いなら必要ない。	緒川新田地区	50歳代
	無くなっても困らない。維持管理費は税金の無駄使いでは、他に必要な施設に変更。	藤江地区	50歳代
	うのはな館は何度か行ったことがありますが、現在のままであれば、どこかの施設と合体させた方がよいと思う。今はコロナという事もあり、なかなかふれあい関係はできないけれど、地域の住人から募集を募り、週替わりでワークショップ(ハンドメイドなど)などの体験型施設にしてもいいのでは?と考えます。そうすれば、住民同士のコミュニケーションも取れ、住民達の趣味を増やすきっかけを作れるのではと思います。	石浜地区	30歳代
文化センターと保健センターと福祉センターと勤労福祉会館	そもそも違いがよくわからないものもある。利用したこともないし、普段どんなことに使われているか全く知らない。	緒川地区	70歳代以上
	近くにあるからひとまとめにできそう。	生路地区	30歳代
	全てひとつの建物に集約してほしい。名前だけではどれがどの施設か分かりにくいし、施設間での移動がまちまちで面倒だから。1つに集約される方が分かりやすいと思う。	石浜地区	20歳代
	文化センター等は似た様な物なので一所に集約して良いと思う。	藤江地区	50歳代
	隣接していて、利用者は建物が別れていて分かりづらい。行事の際は駐車場の不足もある。	緒川地区	40歳代
児童館・総合子育て支援センターとコミュニティセンター・藤江公民館と老人憩の家・東ヶ丘交流館	児童館、コミュニティセンター、老人憩の家は一体化できる。コミュニティセンターはいつも部屋あいてるから老人憩で集まり、児童館が入ることによって老人も子供もお互いコミュニケーションがとれ、核家族な現代その触れ合いが子供の心の成長に大きく関わってくるし、老人にとっては子供との触れ合いが楽しみになっていくと思う。お互いWIN WIN。	生路地区	40歳代

	縦のつながりが出来て良いのではないのでしょうか？老人も若者も顔見知りが出るのでは？	森岡地区	70歳代以上
	特定の年代の人しか使えない施設を減らして、全年代が使える施設を充実させてはと思います	森岡地区	40歳代
	各老人憩の家は、コミュニティセンターや児童館などと集約してもよいのでは。老人憩の家も児童館も、移動の足が無い世代が使うことから、各地域に必要ではあるが、同じ施設内でも機能的に問題は無いと考える。また、老人憩の家は閉鎖的なイメージがあるため、地域に開かれたイメージに変換できるのでは。	森岡地区	30歳代
児童館・総合子育て支援センターと老人憩の家・東ヶ丘交流館	子供と老人=お互いおしえ合える	藤江地区	50歳代
	児童館と老人憩の家も同居すれば、もう少し広く綺麗なものにできる気がする。憩いの家は綺麗だけど、今時、どのくらいの利用率なんだろうって不思議。	藤江地区	40歳代
	福祉センターとボランティアセンター関連業務の施設複合化はどうでしょう。	生路地区	70歳代以上
	老人が経験を活かして子供達に知恵袋の様な存在になったり、子供達は老人と接する機会を増やして、労わる心を育めるようになったり、老人と子供がお互いに見守りができるのかなあ、と思う。	藤江地区	60歳代
小学校・中学校と保育所・なかよし学園	子供さんの送迎などが一箇所にまとめた方が良いのではないかと 생각합니다。	石浜地区	60歳代
	児童生徒数が減少する中でも、縦割りの教育環境も必要	緒川地区	50歳代
	敷地や駐車場の共有、有効活用。	森岡地区	70歳代以上
	教育保育の選択肢として私立の小中一貫校や保育園を誘致し、一部の公立施設を廃止することもできるため。	藤江地区	40歳代
体育館・はなのき会館	トイレ利用の際、赤ちゃんを座らせる椅子が無いため利用できませんでした。離れたところの駐車場に停めると、入り口まで車の行き来が多いため危険です。	緒川地区	30歳代
	小、中学校のを利用。	緒川新田地区	40歳代
	小学校の体育館を開放すればよく、町で管理しなくていいと思えるから。	緒川地区	30歳代
	数年前は、洋裁・和裁などいろいろな教室があったが減少。増やして欲しい。	石浜地区	50歳代
中央図書館と小学校・中学校	学生時に読書が好きで学校の図書館によく入り浸っていました。中央図書館も好きですが、学校特有の雰囲気を持った空間での読書が好きです。本が読めるスペースが町内に広がれば嬉しいです。	森岡地区	20歳代
	小・中学校に図書館機能をもたせる。自習室機能。今の図書館ではスペース不足。遠すぎる。小さい子も高齢者も気軽に通える。	緒川新田地区	50歳代
	利用したいと思ってもわざわざ出向けない。学校図書館を中央図書館のように利用出来るようになればそのほうが近くて便利。	森岡地区	50歳代
	学校の図書館を充実して一般庶民に開放することで中央図書館を廃止を検討してはいかがでしょうか？施設管理費の削減と交通などの利便性を検討願いたい。（高齢化対策など）	緒川新田地区	60歳代
中央図書館と役場庁舎と保健センター	(まずは公共交通機関(バス)の調整の上)一つの場所でいろいろ手続ができる。(帰りのバスまでの)時間がつぶせる。	緒川新田地区	70歳代以上
	よく分かりませんが集約化、複合化が必要と思う。各地区の学校を重点にして、図書室(館)、保健室(保健センター)を充実させ、住民がいつでも利用しやすくすると、地区の人々のためになると思います。役場：住民の出入り、手続きの多い課の待合場所、呼び出しは、電光掲示板設置などすると良い。	緒川地区	70歳代以上
	一番よく使う施設が一カ所に集約されると便利だから、(まとめて用事をすませることができる)	森岡地区	60歳代
	役場とか保健センターを利用した時に「うらら」バスの時間が無かった時など図書館で本を読んで待つ時間をつぶすので。	緒川新田地区	70歳代以上
文化センターとコミュニティセンター・藤江公民館	コミュニティセンターの今後老朽化、修繕費の削減、立地的に近い、避難所としてせまいので統合化。	石浜地区	60歳代
	どちらもホールや会議室の貸し出しを行い、イベント時に利用されている等使用される用途が同じように思えるから	石浜地区	20歳代
	子供が少子化になって行くので、小学校中学校の使っていない時間帯の教室を使用する	藤江地区	50歳代
	似た用途で使用するため	石浜地区	40歳代
文化センターと中央図書館と役場庁舎と郷土資料館(うのはな館)	資料がすぐ調べる事が出来る利便性が高い。	森岡地区	70歳代以上
	出来る限りの集約化は必要と思います。	森岡地区	70歳代以上
	東浦町の文化の拠点となり、必要な手続きもできる。	藤江地区	60歳代

	昔は文化センター内に図書館がありました。中央図書館が、今現在の場所に出来た時に、せっかく綺麗に整備した明德寺川があるのに、何故その場所に役場庁舎と一緒に建てなかったのだろうと当時若いながらも思った事がある。郷土資料館は図書館内、もしくは役場庁舎内に図書館と一緒にであれば利便性も上がるかなとは思う。図書館は駐車場が小さくアパートに囲まれアクセスも不便、また役場庁舎入り口の坂は、障害者の方や高齢者の方々には登り降りが大変キツイかと思います。駐輪場の場所もおかしいですね。	緒川地区	50歳代
文化センターと保健センター	2階建てから3階建てにし、フロアで分ければ2軒建て直す必要はなく、1軒にまとめられるし駐車場も増やせる	緒川地区	20歳代
	一度行きましたが、閑散としていて空間を持って余してるように思えました。	森岡地区	30歳代
	現在は、南北に隣接しているが、建て替えの時1つの建造物(3~4階建て)にした方が駐車スペースが広がる。	藤江地区	60歳代
	文化センターのスペースで保健センターも併用すればよい。	森岡地区	60歳代
役場庁舎と防災倉庫・消防団詰所	災害発生時に一報が役場に入り対応が早くなる。	緒川新田地区	70歳代以上
	命令系統が一つになり、早い対応ができる。	石浜地区	70歳代以上
	役場に防災倉庫・消防団詰所があれば災害発生時に行動しやすいと思います。	無回答	20歳代
	記入なし	生路地区	50歳代
老人憩の家・東ヶ丘交流館と保育所・なかよし学園	年寄り和孩子達の交流が深まり+(プラス)面が生ずるかも?	石浜地区	60歳代
	保育園と老人のあつまる場所を近づける。児童と老人の集まる場所を近づけるなど。	緒川地区	60歳代
	老人と子供(孫)と触れ合いによって相乗効果になると思う。	森岡地区	60歳代
	保育所と高齢者の施設を一緒にして子どもとお年寄りのふれあいを多くしては。	藤江地区	30歳代
コミュニティセンター・藤江公民館とその他	やっている内容が一緒だから	緒川新田地区	40歳代
	何が違うのかわからない。統合して良いと思う。	森岡地区	30歳代
	近くに二つの施設がある。また、コミュニティセンターは利便性が悪いので、統廃合して、一つの機能ができればいい。できればコミュニティセンターのような建物が新田会館の場所に建つとより、あらゆる世代の町民が利用できると思う。他の地域にもあるかもしれないが、緒川新田地区の住民なので、この地区のことしかわからない。	緒川新田地区	40歳代
児童館・総合子育て支援センターと保育所・なかよし学園	児童館と保育園について、アフタースクール?を児童館で行うと聞いたことがあるが、児童館の職員を保育園に常駐することで、児童館の建物をなくすることができるのではないかと思ったから。	藤江地区	10歳代
	記入なし	緒川地区	60歳代
	保育園と児童館を一緒にすることで、兄弟がいない子は、下の子を見る責任感ややさしい気持ちを育んだり出来ると思います。色々上の子が教えることもできます。保育園の先生の負担がすごく多いことを知っています。それも児童館の生徒たちでお手伝いができたりするのもいいと思います。児童館は勉強してもらえないし、ただ児童を見るだけなのだから、保育園+児童館になっても負担は何も変わらないと感じます。	藤江地区	30歳代
小学校・中学校と学校給食センター	学校の中に給食センターを作る事で配達コストを下げられるし、子供たちもより身近に給食を感じる事ができる。	藤江地区	30歳代
	給食は主に学校関係だから、できたらすぐに子供へ配れる。子供も温かいのが食べれる。	石浜地区	70歳代以上
	近い。	藤江地区	40歳代
福祉センターと勤労福祉会館	体の不自由な人の働ける場所を提供したり、考えたりする場所として。	藤江地区	50歳代
	利用目的が、福祉であるため	生路地区	30歳代
	世代別に利用する施設が建設されている。目的や用途に沿って振り分け、似ているものは統合や集約し、世代別に使用できる曜日を分けたり、予約制にすれば満遍なく利用率が上がるのではないかな。大地震に備えて備蓄倉庫等や中心なるべき役所は重点として考えるべきではないか。小中学校の図書室の充実をはかり、休みの日は一般に使用できるようにするなど。	石浜地区	60歳代
文化センターと中央図書館とコミュニティセンター・藤江公民館	中央図書館の自習スペースが狭いと良く聞きます。常時ではないが、家で学習環境が充実していない子供達のために、本来の目的ではないかもしれませんが。	生路地区	70歳代以上
	利用用途が近しいから	生路地区	20歳代
	図書館は全世代で活用してほしいし、もっと広く利用される機会が増えてほしい。コミュニティセンターへ出かけるついでに、図書館でゆっくり読書できる。文化センターは平日利用者が少ないイメージ。他の場所と合わせていいのでは?以前は文化センターの一角に図書館がありましたよね?	緒川地区	40歳代
文化センターと役場庁舎	維持管理と運営が効率的に出来る。	森岡地区	70歳代以上
	総合施設として生かす。	藤江地区	70歳代以上
	総合施設として展開すべき。つぎ足しつぎ足しで空き地にバラバラにあり、不良です。	緒川新田地区	50歳代
防災倉庫・消防団詰所	消防署があるから	緒川地区	60歳代
	不適切な利用をしているから。(飲み会、BBQ等)	藤江地区	20歳代

	消防団員が皆自宅で作事をしているわけではないので、昼間の火事に対応出来ない。消防署があるので必要性を感じない。経費の無駄使い。	緒川新田地区	50歳代
役場庁舎	集約化や複合化は反対。様々な手続きや相談の場所が必要。 無いとこまる。	石浜地区 森岡地区	70歳代以上 70歳代以上
	役場が開いている時間に仕事をしている人が多い。どうせ行く時間がないのだからオンラインで多くの手続きができれば役場という施設はかなり縮小できるのでは。	緒川新田地区	30歳代
児童館・総合子育て支援センターとコミュニティセンター・藤江公民館	利用する時間帯が違う為、同じ施設にしても、今まで通り利用できるのではないかと。	緒川地区	40歳代
	児童館とコミュニティセンターは複合化出来ないか。緒川の高学年児童クラブのフロアはヨガや体操、その他児童向けイベントであの体育館の様な床面を使用したいが児童クラブしか使えないと断られた。日中や休日など、使われていない時間が多いので利用料金を設定して解放して欲しい。利用時間が限られている施設でもあるのでコミュニティセンターへ複合移行していけないか。地域によりコミュニティセンターが気軽に予約して利用しにくい。利用回転率を上げる為に予約し易さが必要。	緒川地区	40歳代
児童館・総合子育て支援センターと老人憩の家・東ヶ丘交流館と保育所・なかよし学園	記入なし	緒川新田地区	50歳代
中央図書館	幅広い年齢層の受け入れ可能な施設とすることで職員の集約と利用者さん同士の活性化。地域の活性化を目指す。	石浜地区	50歳代
	利用する人が限定しているため他の自治体を借りる 平等に利用出来ない、図書館等、いらぬ。図書館で、カードなくしたが、再発行してくれない事がありました。中学生になっても使えなく、不便でした。そんな施設なら、いらぬ。税金も使って欲しくない。	緒川新田地区 石浜地区	40歳代 30歳代
中央図書館と保健センター	検査を受けたあとで図書館で読書ができる。	生路地区	60歳代
	保健センターにてガン検診に行った時に図書館へより、ゆっくり読みたい本をさがす事ができる。	森岡地区	70歳代以上
中央図書館と役場庁舎と郷土資料館（うのはな館）	郷土資料館に行ったことがなく、おそらく行かない。資料館を図書館と役場で分担できるのでは？	生路地区	30歳代
	現状は利用頻度が低い。中央図書館や役場に統合することで、利用頻度が高まるのではないかと。	石浜地区	30歳代
町営住宅（藤江住宅・半ノ木住宅）	空き家問題が多くなるので	森岡地区	40歳代
	不要。	石浜地区	30歳代
福祉センターと総合ボランティアセンター	業務内容が似ているのでは？	森岡地区	70歳代以上
	福祉センター内に総合ボランティアセンターがあってもおかしくない。福祉でまとまる。	緒川新田地区	30歳代
文化センターと郷土資料館（うのはな館）	うのはな館は場所が駅から遠いので利用者が少なくなってしまうのかなと思う。展示品があるのであれば、用途が似ている文化センターと複合することで、一つの用事で来た人が他の展示をみることに繋がると思う。	藤江地区	20歳代
	記入なし	石浜地区	70歳代以上
文化センターと役場庁舎と福祉センター	文化センターと福祉センターは縮小してもよいと思う。	緒川新田地区	40歳代
	記入なし	無回答	70歳代以上
文化センターと役場庁舎と保健センターと福祉センターと勤労福祉会館と総合ボランティアセンターと児童館・総合子育て支援センター	今も程よく近く利用しやすいし、手続きなど同じ場所できると楽だから。事務の方を見ていると、管轄が違うとよく電話して確認してるので、一箇所だと業務も楽だろうと感じたから。	緒川新田地区	40歳代
	1つにまとめ職員がいろんな部署の仕事を助けるようにする事ができる	生路地区	60歳代
保育所・なかよし学園とその他	1か2歳児健診だったと思うのですが、会社を休んで子供を迎えに行き、健診を受けたのですが、地続きならもう少し便利だと思いました。	石浜地区	30歳代
	若返りと気力。	生路地区	70歳代以上
保健センターと児童館・総合子育て支援センター	子育て支援センター内に子供に限った保健センター機能の一部を統合し、予防接種や子どもの健康に関する窓口を併設させる。	生路地区	60歳代
	保健センターと総合子育て支援センターの統合。 妊娠から子育てまで一括した支援が受けられるようにしてほしい。	緒川新田地区	20歳代
役場庁舎とその他	待ち時間が長いと子供はじっとしてられない。公園があるとうれしい。(雨の日も使えるとなお良い)	石浜地区	30歳代
	役場で必要な手続きをしてから移動して買い物を行わなければならない。	藤江地区	10歳代
役場庁舎と福祉センター	お年寄りが増えできたので、まとめて手続きできると楽になる。	緒川新田地区	40歳代
	何かと手続きする時に(高齢者の)便利だと思います。	石浜地区	20歳代
役場庁舎と保健センターと福祉センターと総合ボランティアセンター	機能が重複しているところは統合・集約を積極的に進めるべきだと思います。直近5年程度の稼働率を定量的に算出し説明すれば、統廃合の理解は得られると思います。コロナによる生活・活動スタイルの変化もあると思いますので、その点も考慮に入れて検討していただくとより良いと思います。(大規模→小規模等)	藤江地区	30歳代

	災害時に人が集まりやすく、互いに連絡が密にし老人、子ども障害のある方など早く行動が出きると思う。	石浜地区	70歳代以上
老人憩の家・東ヶ丘交流館	利用者が少ない? 利用頻度が少ないように見える	緒川地区 生路地区	60歳代 70歳代以上
コミュニティセンター・藤江公民館と総合ボランティアセンター	総合ボランティアセンターと各地区コミュニティセンターの活用充実を計画。コミュニティセンターをもっと活用し、動かす工夫をする。集約化する。	森岡地区	70歳代以上
コミュニティセンター・藤江公民館と体育館・はなのき会館とふれあいセンター・藤江コミュニティセンター	広いから。	無回答	無回答
ふれあいセンター・藤江コミュニティセンター	管理しているのが役所なので、使いたいときは閉っている。連休で帰省している子と運動したくてもいつも使えないので利用しない。	緒川新田地区	30歳代
ふれあいセンター・藤江コミュニティセンターと老人憩の家・東ヶ丘交流館	使用しているのをあまり見たことがない。ふれあいセンターいいのでは?	緒川新田地区	60歳代
ふれあいセンター・藤江コミュニティセンターと老人憩の家・東ヶ丘交流館とその他	集会所の建物の耐震性の不安と、利用者数の減少で維持にお金がかかる。交流館と西部ふれあいセンターだけで十分。	緒川新田地区	60歳代
学校給食センター	小、中学校の利用のみでなく、一般家庭用にも利用すべき。	緒川新田地区	40歳代
郷土資料館(うのはな館)と勤労福祉会館	利用する人が少ない様なので他の施設と一緒にしてもよいと考えます。	石浜地区	70歳代以上
郷土資料館(うのはな館)と勤労福祉会館とその他	本当に必要なかどうか? 役場員の出向先等に利用されていないか?、すべて“0”から再出発すべし。(役場員含めて)	緒川新田地区	70歳代以上
郷土資料館(うのはな館)と小学校・中学校と学校給食センター	1ヶ所に集約することにより便利が良いかと。	生路地区	70歳代以上
勤労福祉会館と老人憩の家・東ヶ丘交流館	総合施設として展開すべき。つぎ足しつぎ足しで空き地にバラバラにあり、不良です。名称も似ていて誤認しています。	緒川新田地区	50歳代
児童館・総合子育て支援センターとコミュニティセンター・藤江公民館と小学校・中学校とその他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全て徒歩5-10分圏内にある。</li> <li>・ 卯ノ里小学校の児童が放課後過ごす場所が移動少なく便利・安心。</li> <li>・ 卯ノ里小学校のプールを使用していないのでその場所を活用できる。</li> <li>・ 緒川新田保育園もすぐ近くにあり、緒川新田地区の公共サービスを集約できる。</li> </ul> →ここに新しい公共複合施設ができると、利便性が格段に高まる。知多半島道路のインターチェンジも近く、半田線の延伸も控えており、アクセス性も非常によくなる。半田線延伸のタイミングでこのエリアに新施設ができれば、長期的な公共施設維持管理費の削減だけでなく、地区の新しいシンボルとして商業施設の誘致や、住みやすさアップ=人口増が期待できるから。	緒川新田地区	30歳代
児童館・総合子育て支援センターとコミュニティセンター・藤江公民館と総合ボランティアセンター	地域の人が集まる場所を集約すれば異年齢の交流も生まれるのではないかと思う。	森岡地区	30歳代
児童館・総合子育て支援センターとコミュニティセンター・藤江公民館と老人憩の家・東ヶ丘交流館と小学校・中学校と保育所・なかよし学園	統合しつつ、駐車場とかを広くとってほしい。小学校も、駐車場はありませんとか今時あり得ない。藤江小学校で言えば、児童館や保育園、小学校、憩いの家、コミュニティーセンターで駐車場を共有して、大きな催しがあるときは互いに連絡して駐車場を融通すればいい。そんなに利用日が重なると思えないし、共有して重ならないように運営すればいいのになって思う。1つずつが微妙な広さで狭いから使いにくくて、古くなくても更新されないから使いにくくなって、負のスパイラルだと思う。	藤江地区	40歳代
児童館・総合子育て支援センターと小学校・中学校と保育所・なかよし学園	保育園と児童館の先生が相互に助け合えたらいいと思います。小学校も同じ敷地にあれば、草刈りや土地の整備などまとめて出来る。交通や登下校なども安心で出来る。	藤江地区	40歳代
児童館・総合子育て支援センターと保育所・なかよし学園とその他	各施設がそれぞれ管理人等人件費を要し、使用していないスペースを余している。新田会館周辺は土地が広くある。統合して広いスペースにして育児に使うべき。統合した分、各施設にいた管理人を充てれば、広いスペースを少ない人数でカバーできる。	無回答	無回答
児童館・総合子育て支援センターと保育所・なかよし学園と総合ボランティアセンター	1ヶ所に集約することにより便利が良いかと。	生路地区	70歳代以上
児童館・総合子育て支援センターと老人憩の家・東ヶ丘交流館と小学校・中学校	子供と老人等の交流の場になる。	生路地区	70歳代以上
総合ボランティアセンターと防災倉庫・消防団詰所	地理的にどちらにあるが分りませんが、(特に消防団詰所は複数有るかな)総合的に活動内容は共有する所が多いと思います。	森岡地区	60歳代
総合ボランティアセンターと防災倉庫・消防団詰所と学校給食センター	災害時に食料面の救援活動をしやすくするため。	緒川地区	50歳代
中央図書館とコミュニティセンター・藤江公民館と老人憩の家・東ヶ丘交流館	世代別に利用する施設が建設されている。目的や用途に沿って振り分け、似ているものは統合や集約し、世代別に使用できる曜日を分けたり、予約制にすれば満遍なく利用率が上がるのではないか。大地震に備えて備蓄倉庫等や中心なるべき役所は重点として考えるべきではないか。小中学校の図書室の充実をはかり、休みの日は一般に使用できるようにするなど。	石浜地区	60歳代

中央図書館と郷土資料館（うのはな館）と児童館・総合子育て支援センター	いっしょにあると便利だから。	森岡地区	60歳代
中央図書館と郷土資料館（うのはな館）と体育館・はなのき会館	一ヶ所になっていけば、人が集まり維持管理費も負担が少なくなると思う。子どもから高齢者まで地域の関わりができる場になると思う。	緒川新田地区	20歳代
中央図書館と児童館・総合子育て支援センター	遊びながら本を読んだり子育て支援をおこなう	緒川地区	70歳代以上
中央図書館と児童館・総合子育て支援センターとコミュニティセンター・藤江公民館と老人憩の家・東ヶ丘交流館と体育館・はなのき会館とふれあいセンター・藤江コミュニティセンター	各地区に散在している施設を1ヶ所に集め、その地区の行政、文化の中核として住民が利用しやすいものとし、1ヶ所に集中することにより、人々の賑わいが感じられ、住民同士の交流も深まると思う。	緒川新田地区	70歳代以上
中央図書館と児童館・総合子育て支援センターと老人憩の家・東ヶ丘交流館と小学校・中学校と保育所・なかよし学園	小学校・中学校の空室を有効活用し、いろんな年齢の人と同じ空間を共有することで地域の活性化を保つ。	森岡地区	50歳代
中央図書館と体育館・はなのき会館	スポーツの終りに図書へと移動、学生等の集合場。	藤江地区	60歳代
中央図書館と福祉センターと児童館・総合子育て支援センターと老人憩の家・東ヶ丘交流館と小学校・中学校と保育所・なかよし学園と防災倉庫・消防団詰所	人を集める場所と安全を管理していかないといけない場所で、人材をまとめて集めやすい。また、教育の関係で保育園が人が足りないときは、児童館の先生が臨時で助けたり足りないところを他のところが補充できそうだから。今、学生がボランティアでやっている図書館や保育園など、そのまま、回数もたくさんできそうだから。	緒川新田地区	40歳代
中央図書館と保育所・なかよし学園	子供の利用が多いから	緒川地区	10歳代
中央図書館と役場庁舎とコミュニティセンター・藤江公民館	定期的に利用しているが、利用している人が偏っているのではと感じる。役場や公民館などと統合して、人通りを増やしても良いのではと思う。	緒川地区	40歳代
中央図書館と役場庁舎と郷土資料館（うのはな館）と総合ボランティアセンター	1つになっても、特に問題ないと思う。役場に來たついでに、本を見たり、資料館をながめたりできる。	生路地区	50歳代
中央図書館と役場庁舎と児童館・総合子育て支援センター	できればなくなってほしくないが、子供向けの本は児童館や「うららん」で、大人向けの本は役場に置くなどして役割を分けることができる。	緒川地区	30歳代
中央図書館と役場庁舎と保健センターと体育館・はなのき会館とその他	複合施設を充実させ、町外の人も利用できる観光スポットとまでは行かないが目的地に出来るようにする	石浜地区	50歳代
福祉センター	重複している	生路地区	60歳代
福祉センターと郷土資料館（うのはな館）と老人憩の家・東ヶ丘交流館	使用ひん度が少ないと思われる場所は一つに。	森岡地区	70歳代以上
福祉センターと勤労福祉会館とコミュニティセンター・藤江公民館と老人憩の家・東ヶ丘交流館とふれあいセンター・藤江コミュニティセンター	機能的に近いと考えられるため。また、車で来る利用者が多そうなので、遠くても我慢できる範囲と思うため。	藤江地区	40歳代
福祉センターと勤労福祉会館と総合ボランティアセンター	これからは福祉は本当に必要だと思うので、1つの建物でわかりやすく、行きやすくして欲しいが福祉会館は、これからはもういらぬのではないですか!?	藤江地区	60歳代
福祉センターと勤労福祉会館と老人憩の家・東ヶ丘交流館	利用用途が近いから	生路地区	20歳代
福祉センターと児童館・総合子育て支援センター	記入なし	緒川新田地区	50歳代
福祉センターと児童館・総合子育て支援センターと総合ボランティアセンター	福祉センターやボランティアセンターも、子育て支援センターと同居。同居することで、どちらかしか行かない人の目に留まりやすくなり、利用が進むかもしれない。互いへの理解が進んだり。	藤江地区	40歳代
福祉センターと老人憩の家・東ヶ丘交流館と保育所・なかよし学園	総合施設として展開すべき。つぎ足しつぎ足しで空き地にバラバラにあり、不良です。名称も似ていて誤認しています。	緒川新田地区	50歳代
文化センター	規模を大きくしてイベントなど開催	生路地区	70歳代以上
文化センターとコミュニティセンター・藤江公民館とふれあいセンター・藤江コミュニティセンター	記入なし	石浜地区	70歳代以上
文化センターと郷土資料館（うのはな館）とコミュニティセンター・藤江公民館	稼働率をあげるため。	森岡地区	60歳代
文化センターと郷土資料館（うのはな館）と勤労福祉会館	それぞれの利用がどの施設でも兼用できそうな気がするため。	石浜地区	60歳代
文化センターと郷土資料館（うのはな館）と勤労福祉会館と体育館・はなのき会館	同じ内容のことをしているので、利用者も少ない。	藤江地区	40歳代

文化センターと郷土資料館（うのはな館）と体育館・はなのき会館	世代別に利用する施設が建設されている。目的や用途に沿って振り分け、似ているものは統合や集約し、世代別に使用できる曜日を分けたり、予約制にすれば満遍なく利用率が上がるのではないかと。大地震に備えて備蓄倉庫等や中心なるべき役所は重点として考えるべきではないか。小中学校の図書室の充実をはかり、休みの日は一般に使用できるようにするなど。	石浜地区	60歳代
文化センターと勤労福祉会館とコミュニティセンター・藤江公民館	利用していない時間帯が多そうだから	石浜地区	40歳代
文化センターと勤労福祉会館と総合ボランティアセンター	私はほとんど利用したことがなく、利用する人も少ないと思うので集約化するべきだと思う。これらの施設の事務所を一つにすれば人件費も減ると思います。	藤江地区	20歳代
文化センターと勤労福祉会館と体育館・はなのき会館	機能が重複しているところは統合・集約を積極的に進めるべきだと思います。直近5年程度の稼働率を定量的に算出し説明すれば、統廃合の理解は得られると思います。コロナによる生活・活動スタイルの変化もあると思いますので、その点も考慮に入れて検討していただくとより良いと思います。（大規模→小規模等）	藤江地区	30歳代
文化センターと勤労福祉会館と老人憩の家・東ヶ丘交流館	平日に人が多く集まる場所にすべき	石浜地区	70歳代以上
文化センターと児童館・総合子育て支援センターとコミュニティセンター・藤江公民館と老人憩の家・東ヶ丘交流館とふれあいセンター・藤江コミュニティセンター	①少子高齢化の現状をふまえ、社会全体で子供を育て、高齢者のケアをする。②世代間交流を促進させる。③集約化・複合化による人材不足の解消。こういう公共施設を庁内に、複数分けて、交通アクセスを充実させる。	藤江地区	60歳代
文化センターと児童館・総合子育て支援センターと保育所・なかよし学園	公共施設が集まっているが、各々で役割が明確になりすぎている。小学校や保育園は、土日ならば地域住民に貸出という様に、1つの施設で多目的利用する+駐車場も分ける必要が無くなる。（東海市役所と市営プール駐車場合同利用）	藤江地区	30歳代
文化センターと中央図書館と福祉センターと勤労福祉会館	会議やサークル活動では、未活動時間の有効利用を考えて、まとめられる施設があれば合併できるとよいと思います、	緒川地区	50歳代
文化センターと中央図書館と保健センターと児童館・総合子育て支援センター	蔦屋書店などで何店舗もあるが、本屋と多目的ホールやキッズスペース、カフェなどの複合施設として運営されているのをみたことがある。1日居られ、色々な人が利用できて良いと思った。その応用で核として図書館を置けないか。	石浜地区	30歳代
文化センターと中央図書館と保健センターと福祉センター	素人考えですが、別々に存在している意味がよくわかりません…土地を広く使い、二階建てまでの方が、維持しやすいのでしょうか？（あまりに階数を増やすとエレベーター設置・保守など費用がかさむのでしょうか？）統合してしまっても良いのでは、と思います。	森岡地区	30歳代
文化センターと中央図書館と保健センターと福祉センターと勤労福祉会館	ほぼ同一地に建っているため複合化する	緒川地区	60歳代
文化センターと中央図書館と役場庁舎と福祉センター	記入なし	石浜地区	70歳代以上
文化センターと中央図書館と役場庁舎と福祉センターと郷土資料館（うのはな館）と児童館・総合子育て支援センターと総合ボランティアセンター	その場所に絶対無いとダメな施設以外は1ヶ所に集めた方が便利で効率的だと思う。	緒川地区	40歳代
文化センターと中央図書館と役場庁舎と保健センターとその他	記入なし	石浜地区	60歳代
文化センターと中央図書館と役場庁舎と保健センターと郷土資料館（うのはな館）	手続きが役場と保健センターで分かれていると不便、同じ場所か隣り合わせにして欲しい。図書館や文化センターも似たような場所にあるし一緒になれば分かりやすい。郷土資料館は利用したことがないが、図書館や役場と集約していればいつでも利用することも知れない。	森岡地区	30歳代
文化センターと中央図書館と役場庁舎と保健センターと福祉センター	各種手続きが役場まわりで円滑にすすむ 複合化した建物なら災害時の避難の拠点になる	生路地区	60歳代
文化センターと福祉センターと郷土資料館（うのはな館）	催事的な活動するにつき一本化することがベターである。	緒川新田地区	70歳代以上
文化センターと福祉センターと勤労福祉会館	それぞれの個体でおく役割の意味がわかりません。1カ所に集約し、総合センターとして機能させた方が利便性がある。	緒川新田地区	40歳代
文化センターと保育所・なかよし学園	敷地や駐車場の共有、有効活用。	森岡地区	70歳代以上
文化センターと保健センターと勤労福祉会館	多様な事が1個所で出来る。	石浜地区	70歳代以上
文化センターと保健センターと福祉センター	1つの建物とし、複合施設として多目的化する。	森岡地区	40歳代

文化センターと保健センターと福祉センターとコミュニティセンター・藤江公民館と総合ボランティアセンターと児童館・総合子育て支援センターとふれあいセンター・藤江コミュニティセンター	センター長と職員が減らせる	生路地区	60歳代
文化センターと保健センターと福祉センターとコミュニティセンター・藤江公民館と総合ボランティアセンターと児童館・総合子育て支援センターとふれあいセンター・藤江コミュニティセンターと学校給食センター	大きくなくても良さそうだから。	緒川新田地区	30歳代
文化センターと保健センターと福祉センターと郷土資料館（うのはな館）と勤労福祉会館と児童館・総合子育て支援センター	同じセンターの名前が着くものはひとつにまとめた方がわかりやすいしそこに資料館があればいいと思う。	生路地区	10歳代
文化センターと保健センターと福祉センターと勤労福祉会館と小学校・中学校と体育館・はなのき会館	1棟にして、手近に利用できれば良い	石浜地区	70歳代以上
文化センターと保健センターと福祉センターと児童館・総合子育て支援センターとコミュニティセンター・藤江公民館と総合ボランティアセンターとふれあいセンター・藤江コミュニティセンター	センターの名の通り、集まる場所なら多目的なセンターにして、利用率を高め、効率化を図る。となりの市とも共同運営、利用を図る。	石浜地区	70歳代以上
文化センターと保健センターと福祉センターと総合ボランティアセンター	分かりやすいなあと思います。利用していないセンターが多いので一部でも利用している施設を利用した際、他の施設のことも知れる。	緒川地区	30歳代
文化センターと役場庁舎と郷土資料館（うのはな館）	役場や文化センターなどと併設することで、利用する人も増えると思う。（現施設内にスペースを作る）	藤江地区	30歳代
文化センターと役場庁舎と勤労福祉会館	ホールや貸館施設を集約し、イベントや講座など効率良く運営できるようにする。	石浜地区	50歳代
文化センターと役場庁舎と福祉センターと郷土資料館（うのはな館）と児童館・総合子育て支援センターと総合ボランティアセンター	各地に置く必要のある施設以外はすべて役場に集約。何かと言えば役場へ（不便でも）これに貫れてもらう。	石浜地区	70歳代以上
文化センターと役場庁舎と保健センター	一般住民がよく利用する物だから。	石浜地区	70歳代以上
文化センターと役場庁舎と保健センターと児童館・総合子育て支援センター	役場(町の行政)の縦わり行政の解消と横の連携を密にするため。	石浜地区	70歳代以上
文化センターと役場庁舎と保健センターと福祉センターと勤労福祉会館と総合ボランティアセンターと体育館・はなのき会館	利用したい物が集中していれば、維持管理する費用が減らせるし利用者一ヶ所で用が済むので楽であり、職員も車で役場等への移動しなくて済むので公用車をかなり減らせ時間短縮になるし、職員も兼用できるはずなので職員数も減らすことができる。	石浜地区	20歳代
保育所・なかよし学園	人口減少になる	緒川地区	70歳代以上
保育所・なかよし学園とふれあいセンター・藤江コミュニティセンター	隣同士で、園児たちが使用できるようになると施設の使用の幅が広がるから。	藤江地区	10歳代
保健センターと児童館・総合子育て支援センターと老人憩の家・東ヶ丘交流館と小学校・中学校と保育所・なかよし学園	子供、老人に関する事を一貫校に、町を3ヶ所位にわけ、一ヶ所で手続をすませ、人とのふれあいを作る。	緒川地区	70歳代以上
保健センターと福祉センターと郷土資料館（うのはな館）と勤労福祉会館と老人憩の家・東ヶ丘交流館	利用頻度が少ない。管理を集約して維持費を下げるべき。	緒川地区	30歳代
保健センターと福祉センターと勤労福祉会館	業務内容の細かいところが分らない部分があるが(私にとって)兼務出来る業務が工夫すればいろいろあるのではないかな…。	生路地区	70歳代以上
保健センターと福祉センターと児童館・総合子育て支援センター	何かにつけて、一緒の方が便利だと思う。	緒川新田地区	70歳代以上
保健センターと福祉センターと総合ボランティアセンター	名称の意味からして、同じものを言い換えているにすぎないように感じる。統合しても似た内容で活動できると思う。	森岡地区	40歳代
保健センターと老人憩の家・東ヶ丘交流館	老人が保健の相談しやすく、保健センターが老人の意見を聞きやすく	石浜地区	70歳代以上
保健センターと老人憩の家・東ヶ丘交流館と児童館・総合子育て支援センター	子育て支援センターや老人憩の家を利用した際気軽に保健センターへ健康相談できる。私は子供（1歳）に心配なことがあると保健センターへ電話相談しています。子育てでどこに相談していいのか悩んでいるお母さんは結構いると感じます。	緒川地区	30歳代

防災倉庫・消防団詰所とその他	災害時、避難する人が多数だと思うので避難場所に防災倉庫があると配給が効率化できると思う。	緒川新田地区	20歳代
役場庁舎と学校給食センター	給食を小中学生に限らず、食べてもらえるようにしたいから。役場には食堂がないため、役場の職員はもちろん、地域の人達からも予約してもらったりし、食品ロスにもなればいいかなと思います。	生路地区	40歳代
役場庁舎と郷土資料館（うのはな館）	関心のない人には、特にいらぬ施設。役場に集約してもいいと思う。	生路地区	60歳代
役場庁舎と小学校・中学校と体育館・はなのき会館	スポーツする人達の姿をもっと皆にみてもらいたい。老人が子供達の姿を、子供達が老人の姿を、みたい。	石浜地区	50歳代
役場庁舎と総合ボランティアセンターと児童館・総合子育て支援センター	人的資源の集約	藤江地区	70歳代以上
役場庁舎と福祉センターと勤労福祉会館と総合ボランティアセンター	役場内にあった方が利用しやすい。	緒川新田地区	60歳代
役場庁舎と福祉センターと小学校・中学校	役場と連絡、手続きしやすいから。	緒川新田地区	70歳代以上
役場庁舎と福祉センターと総合ボランティアセンター	福祉と連携をとりやすくする為。	緒川地区	60歳代
役場庁舎と保健センター	妊娠・出産で手続きを行うとき、2度手間だと感じる事が多くあった。	緒川地区	30歳代
役場庁舎と保健センターと福祉センターと勤労福祉会館と総合ボランティアセンター	同じ建物内にあった方が利用しやすいです。	石浜地区	10歳代
役場庁舎と保健センターと防災倉庫・消防団詰所	大災害が近い将来あると言われている為、連携を図ることが必要。	緒川新田地区	60歳代
老人憩の家・東ヶ丘交流館とコミュニティセンター・藤江公民館	老人憩いの家は公民館で代替できると思う	藤江地区	50歳代
老人憩の家・東ヶ丘交流館とコミュニティセンター・藤江公民館と体育館・はなのき会館と町営住宅（藤江住宅・半ノ木住宅）	廃止すべきと思う。	緒川地区	70歳代以上
老人憩の家・東ヶ丘交流館と小学校・中学校と保育所・なかよし学園	世代のちがう人たちの生活を知ることは核家族化している現代では、必考なことだと思う。	石浜地区	70歳代以上
老人憩の家・東ヶ丘交流館と小学校・中学校と防災倉庫・消防団詰所	それぞれの地区が、子供、若者、年寄りいっしょにした方が何をしているかお互いにわかってもらえる。	生路地区	50歳代
老人憩の家・東ヶ丘交流館と保育所・なかよし学園とその他	核家族の中、家庭内に子供がいない、老人がいない状況が多く、老人の役割、子供の心の成長があるのではと思います。	生路地区	50歳代
老人憩の家・東ヶ丘交流館と保育所・なかよし学園と防災倉庫・消防団詰所	異世代交流が生まれるため。災害弱者となりうる子ども、障がい児・高齢者が防災、避難等を身近に感じられるため。	森岡地区	60歳代